

新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ（第3次）

2020年4月2日

柏市長 秋山浩保様
柏市教育長 河嶋貞様

日本共産党柏市議団

全国的に新型コロナウイルスの感染者が増え続け、柏市でも4月1日現在で6名の感染者が明らかになりました。3月4日から休校になっていた学校は、4月6日から再開すべく準備が進められています。こうした状況の中で、市民生活をまもり、子どもたちの健やかな成長を確保するために、現時点で以下の項目について緊急要望をするものです。

1、新型コロナウイルス感染症への対応強化について

- 感染症相談センターでの相談時間を伸ばし、土日・祭日も相談を受けること。
- ウイルス検査、相談センターの態勢を充実させるため、人員を増やすこと。
- 国民健康保険の資格証明書発行者に対して、我孫子市のように短期保険証を送付すること。
- 国民健康保険制度の傷病手当金については、速やかに条例改定を行い、周知徹底すること。

2、学校の新学年スタートにあたって

- 児童生徒が感染しないように、具体的な対応をすること。
- 教職員、持参できない児童生徒のマスクは、市として支給すること。
- 就学援助は5月以降の申請でも、状況を丁寧に聞き、4月に遡って支給すること。
- 市立柏高校の授業料滞納があったときは、事情を丁寧に聞き柔軟に対応すること。
- 昨年度3月の休校に関する授業の遅れについては柔軟な対応をし、児童生徒、教員への負担が増えないようにすること。
- 柏市として行っている学力テストは中止すること。

3、再度、学校の休校が行われるとき

- 今後学校の休校が行われるときは、その根拠を明確にすること。
- 休校中の子どもたちの生活に対し、丁寧な対応をすること。
- 就学援助利用者については、昼食費の支援を行うこと。
- 休校により、子どもだけで過ごさざるを得ない教職員が、子育てのため勤務を離れるときは、有給休暇を取得しなくても良いようにすること。
- 共働き世帯、ひとり親世帯など、親が仕事で家を離れざるを得ない世帯の子どもについては、学年を問わず学校で受け入れること。給食がないことによる栄養バランスの欠如への対応として、学校での給食提供を検討すること。
- 学校に行けないことによるストレスの増大に対し、図書館や遊び場として校庭や公共施設を開放すること。

以上